

Ⅱ 図書館事業

図書館事業については、下記に掲げる項目について、目標・取組概要、自己評価、今後の課題と対応方向、外部の方々から頂いた意見をまとめました。

1 いつでも気軽に気持ちよく利用できる図書館

全ての市民に、いつでも気軽に気持ちよく利用される図書館を目指します。

項 目	1 市民の意向を反映した図書館運営
目標・取組概要	市民ニーズを的確に把握し、市民が求める図書館運営を行います。
自己評価	平成28年4月の指定管理者による運営開始に向け、図書館協議会やボランティア団体から広く意見を聴取し、不安を払拭できるよう対処し、また、指定管理者へ十分な引継ぎに努めました。
今後の課題と対応の方向性	指定管理者が、これまで同様に自由かつ公平な市民サービスを展開しているかの把握に努め、適宜指導及び助言を行います。また、図書館協議会は、市が組織し市民意見を図書館運営に反映させます。

＜外部の方々から頂いた意見＞

＊ 指定管理者に移行するに当たり、これまで図書館運営に携わっていた職員を図書館担当として必要な人数を配置し、十分な引継ぎ及び指導・助言を行ってほしい。

項 目	2 多様な資料の収集・整理・保存		
目標・取組概要	市民が多様な情報を容易に得ることができるよう、資料の収集・整理・保存に努めます。また、逐次視聴覚資料、刊行物及び郷土資料の収集・整理に努めます。		
自己評価	市民一人当たり500円の資料費により、図書資料16,415冊、視聴覚資料565点、雑誌316タイトル、新聞35種を収集して資料の充実を図りました。		
	平成27年度近隣自治体の資料費		
	区 分	資料費（千円）	市民1人当たり（円）
	牛久市	22,569	268
	取手市	30,260	277
	常総市	14,431	229
	つくばみらい市	13,162	263
	守谷市	32,500	500
	平成27年度県内市町村図書資料費ベスト5		
	順 位	市町村名	市民1人当たり（円）
1位	神 栖 市	518	
2位	守 谷 市	500	
3位	東 海 村	485	
4位	結 城 市	473	
5位	笠 間 市	425	

今後の課題と対応の方向性	市民一人当たりの資料費は、県内で2位と最高水準であり、今後ともこの水準を維持する。
--------------	---

項 目	3 図書館サービスの強化
目標・取組概要	市民が求める図書館資料を、いつでもどこでも迅速に提供できるよう、サービスの強化に努めます。
自己評価	利用状況は、一日平均貸出者863.5人、年間の市民一人当たりの平均貸出冊数が13.1冊で、笠間市に次いで県内2位です。活発な利用がなされました。
今後の課題と対応の方向性	貸出しや利用者の増加に対応するため、市民が求める資料や情報の提供を適切に行い、質の高いサービスの提供に努めてまいります。また、指定管理者による運営開始に伴い、開館日時の増加や民間活力の活用によりサービスの向上を図ります。

<外部の方々から頂いた意見>

* CDの現物配架が無理なら、ケースだけでも陳列して欲しい

項 目	4 市民との協働
目標・取組概要	図書館と市民ボランティアの協働で各種行事を展開することにより、市民への利用促進を図ります。
自己評価	① 図書館を拠点に市民参加型ボランティアによる「読み聞かせ、本の修理、音訳テープ・点字本の作成等」積極的な活動をしています。ボランティアによるおはなし会を、年間104回、本の修理を週3日行うなど、市民との協働による図書館運営を進めることができました。 ② 生後3・4箇月児健診時に行っているブックスタート事業を月2回開催し、延べ636人の乳児の参加がありました。親子のコミュニケーションの大切さを伝えるため、ボランティアによる読み聞かせや絵本を無料配布し、早くから本と触れ合う機会を設けるなど、親子のふれあいを支援しました。 ③ 読書週間にボランティア団体による各種講座を開催し、多くの参加者でにぎわいました。また、同時に開催したリサイクルブックフェアでは、古くなった本を有効活用し、初日に一冊100円の有料販売を行い、来館者422人に、1,517冊を販売しました。2日目は無料配布で612人に、5,119冊を配布しました。大変好評で、多くの市民にリサイクル本を有効活用していただきました。
今後の課題と対応の方向性	指定管理者による運営開始後も、これまで以上にボランティア団体との連携を図り、市民サービスの向上に努める必要があります。

＜外部の方々から頂いた意見＞

＊ 指定管理者による運営に移行しても、ボランティアとの連携を大切にしてほしい。

2 図書館機能の強化とサービスの充実

市民の知的欲求を保障し、日常生活に生かすため、図書館機能の強化とサービスの充実を図ります。

項 目	1 図書館ネットワークの活用
目標・取組概要	図書館ネットワークの活用により、市民が求める資料及び情報を効率的、効果的に提供するサービスを行います。
自己評価	図書館ネットワークを通じて、中央図書館及び公民館図書室において、利用者に対して公平な利用案内、各種情報提供及び貸出等のサービスを提供することができました。 平成27年5月の図書館コンピュータシステム更新時に、Wi-Fiスポットを設置し、館内のインターネットによる情報閲覧環境を整備しました。また、平成28年3月には、年度内に市民から陳情があった国会図書館デジタル送信サービスの利用を開始し、市民への情報提供サービスの強化を図ることができました。
今後の課題と対応の方向性	本の予約・リクエストは、一日平均572冊と年々増加しています。それに伴い専門的な資料や、高額な資料のリクエストも増加しているため、県立図書館への購入依頼件数や県外公共図書館から借り受ける件数も増加しています。指定管理者による運営開始に当たり、リクエスト資料の購入や貸借の基準について、しっかりと指導していく必要があります。

項 目	2 子ども読書活動推進
目標・取組概要	学校、保育所、幼稚園との連携を強化し、子ども読書活動への支援を推進します。
自己評価	学校図書館への奉仕員の配置及び指導により、学校図書館の利用促進のための援助を行いました。また、ボランティア団体の協力を得て、保育所での読み聞かせを実施し、子ども読書活動を推進することができました。
今後の課題と対応の方向性	平成28年度は「第二次守谷市子ども読書活動推進計画」の最終年度となっていますが、県内で第三次計画を策定しているのは県立図書館のみとなっています。計画策定には図書館指定管理者の協力が必要不可欠ですが、運営初年度であり、指定管理者にそれだけの余力があるのか疑問です。第三次計画の策定は、慎重に時期を見極める必要があります。

3 施設・設備の安全

誰にでも使いやすい図書館を目指し、施設環境の整備・充実に努めます。

項 目	1 良好な施設環境の整備
目標・取組概要	保守点検及び修繕に努め、市民に快適な空間を提供できるよう努めます。
自己評価	① 昇降機の修繕工事を行い、利用者の安全な図書館利用に努めました。 ② AVブース塗装工事、休憩コーナー椅子張替により、利用者の快適な利用に努めました。
今後の課題と対応の方向性	建設から21年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、計画的な施設改修が必要です。平成28年度は図書館建物診断調査を実施することにより、耐久性及び劣化等の専門的見地の下に、安全、良好な施設の保全に努めます。

<外部の方々から頂いた意見>

- * 館内に給湯機と電子レンジを置いてほしい。
- * 視聴覚室が暗いように思うが、適正な明るさは確保されているのか。